

会議・打合せ記録

会議録	平成21年度 第1回豊田市公共交通会議
次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 平成21年度における取り組みについて</p> <p>3. 議事</p> <p>【協議案件】</p> <p>(1) 豊田市公共交通会議規約の改正について</p> <p>(2) 地域バス等路線の変更について 高岡ふれあいバス 藤岡地域バス</p> <p>【報告案件】</p> <p>(1) 道路改良工事に伴う基幹バスおよび地域バス等の迂回運行について 旭・新盛線 旭地域バス</p> <p>(2) バス停の新設及び移設について 稲武地域バス</p> <p>(3) バス停の名称変更について 中心市街地玄関口バス</p> <p>(4) 豊田市基幹バス及び地域バスの利用状況について</p> <p>4. その他</p> <p>(1) 次回会議の開催予定について</p> <p>5. 閉会</p>
日時	平成21年6月23日(火) 13:30~14:30
場所	豊田市役所 南51会議室
出席者 (敬称略)	<p>【委員】 荻野 弘(豊田工業高等専門学校)</p> <p>藪押 光市(豊田商工会議所)</p> <p>野田 宏治(豊田工業高等専門学校)</p> <p>中條 善朗(豊田市区長会)</p> <p>柴田 洋輔(豊田市老人クラブ連合会)</p> <p>澤田 直樹(豊田市PTA連絡協議会)</p> <p>梅村 松男(豊田市社会福祉協議会)</p> <p>三浦 久芳(名古屋鉄道株式会社)</p> <p>梶原雅一郎(愛知環状鉄道株式会社)</p> <p>長瀬 敏裕(名鉄バス株式会社)(代理:山下)</p> <p>堀合 正行(豊栄交通株式会社)</p> <p>牛田 昌弘(愛知県タクシー協会豊田支部)</p> <p>長崎三千男(愛知県バス協会)</p> <p>小林 宏(愛知県交通運輸産業労働組合協議会)(代理:城坂)</p> <p>小林 裕之(国土交通省中部運輸局愛知運輸支局)(代理:加藤)</p> <p>内藤 洋(国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所)(代理:石野)</p> <p>土屋 人土(愛知県警察 豊田警察署)</p> <p>本多 幸治(愛知県警察 足助警察署)</p> <p>宮崎 秀嗣(愛知県地域振興部交通対策課)(代理:米山)</p> <p>上田 享二(愛知県豊田加茂建設事務所)</p> <p>林 正美(愛知県豊田加茂建設事務所 足助支所)</p> <p>山田 正秋(豊田市都市整備部)</p> <p>【事務局】 豊田市 都市整備部交通政策課</p>

資料

1. 次第・配席図
2. 資料1～9：豊田市公共交通会議 平成21年度第1回会議資料
3. 別紙

(要約)

2. 平成21年度における取り組みについて

事務局
委員

資料に基づき説明。

先日、ある講演会で公共投資をうまく還元できていない多くの事例を聞きました。一方、おいでんバスは利用者が着々と増加しておりうまく還元できていると言えるでしょう。これも会場の皆様のおいでんバスへのご理解・ご協力のおかげです。ありがとうございます。ただ、現在のバス利用方法は郊外から都心へという動きが中心です。今後、都心の住民が郊外へ向かい、地域バスを利用して行楽に行くといった新たな利用方法を促すような、利用者をさらに増やす方策が必要でしょう。これまでの取り組みから市のバスに対する思い入れの強さを感じておりますが、それを絶やすことなく続けていただきたいと思います。

(協議案件)

(1) 豊田市公共交通会議規約の改正について

事務局

資料に基づき説明。

(2) 地域バス等路線の変更について

事務局
委員

資料に基づき説明。

高岡ふれあいバス 番路線の運行ルートを変更し、それに伴い、「本田町川端」停を廃止するということですが、地域住民はバス停廃止を伴う運行ルートの変更について了承されているのですか。

事務局
委員

はい、地域住民で組織するふれあいバス運営協議会の総会で了承を得ています。最初に地域住民からルート変更の発議があったということですか。

事務局
委員

そうです。

藤岡地域バスについてですが、今回の公共交通会議規約改正であった臨時便での対応をするか、藤岡地域バスのように運行日を限定して対応するか検討の余地があると思いますが、今後、今回のように定期的なイベントがあるとわかった時は、臨時便か増便に対応していただけるとありがたいです。

(報告案件)

(1) 道路改良工事に伴う基幹バスおよび地域バス等の迂回運行について

(2) バス停の新設及び移設について

(3) バス停の名称変更について

事務局
委員
事務局

資料に基づき説明。

旭地域バスの運行ルート変更日数は、9/1～3/31までのうち何日間ですか。
9/1～3/31までの毎日です。

委員 旭地域バス敷島線の変更後のルートは基幹バス旭・豊田線上を通過しますが、通過するバス停での対応はどうするのでしょうか。

事務局 迂回運行という臨時的な対応なので、基幹バスのバス停は通過し、乗降扱いはいたしません。

委員 笹戸浅野線は運行ルート変更後、白石バス停を休止するため小田方面へ行けなくなりませんが利用者への対応はどうされるのでしょうか。

事務局 白石から小田方面への利用はなく、支障はないと考えております。

委員 わかりました。山間部のバス路線では工事や災害があるに対応に苦慮されると思いますが、今後も柔軟に対応していただきたいと思います。

(4) 豊田市基幹バス及び地域バスの利用状況について

事務局 資料に基づき説明。

委員 昨今の経済状況が厳しいなかでも利用者が増加しています。公共交通基本計画にある利用者数を2001年と比べて2010年までに1.5倍までに増加させるという目標に向けて努力していただきたいと思います。

委員 保見地域バスの利用者が減少したのは運行ルート上にあるスーパーが閉店したからという説明でしたが、運行ルート上にスーパーがある基幹バス保見・豊田線との接続利便性を向上させる等見直しの検討も必要ではないでしょうか。

事務局 利用者から保見地域バス運行ルート上のスーパーが閉店したために不便になったという意見がありました。保見地域バスの運営協議会と話し合い、より利便性が向上する改正案を作成し、次回公共交通会議で諮れるように努力していきたいと考えております。

委員 水源東バスは運行ルートが長いために利用者が減少したとの説明でしたが、利用者減少の根拠にはなっていないと思います。どうして減少したのでしょうか。

事務局 多く利用されていた方が病気等で利用されなくなったという報告を聞いています。その分利用者が減少したのではないかと推測しています。地元水源地区住民にバスのPRをするだけでなく、松平ともえ号と接続しているので、松平地区住民へもPRを進めております。今後とも利用促進のためにバスのPR活動を続けていきます。

委員 ICカード導入を検討されているとのことですが、利用回数が多い方に対し優遇する制度等、利用促進策をICカード導入後すぐに実施できるよう今のうちから検討していただきたいと思います。

事務局 ICカードを利用した利用促進策を導入するために情報収集しておりますが、今後とも新たな情報がありましたら教えていただきたいと思います。

委員

今後公共交通網を充実させていくに当たって、ますます増えていくと思われる行政への負担を軽減していく取り組みが必要となるでしょう。そのために、地域でもバスの利用促進に向けての取り組みを盛り上げていく方策が必要ではないでしょうか。引き続き、会場の皆様にご支援・ご協力をいただきたいと思います。

【その他】

(1) 次回会議の開催予定について

事務局

次回会議は、11月頃に平成21年度第2回会議の開催を予定しています。